

## 保護者の方へのメッセージ

### 子どもが性被害を話したら

お子さんが性被害にあったことを知ったとき、途方に暮れ、何を信じたらいいのかわからなくなったり、あなた自身もとても混乱するかもしれません。

でも、まずは、お子さんを受け止めて、安心させてあげてください。

そして、頑張って子どもが話してくれたことをなかつたことにせず、お子さんを守るためにどうしたらよいか考えるためにも、抱え込まず、専門機関（警察、児相、ワンストップ支援センター、子ども擁護センター（CAC）など）につながってください。

子ども支援センターつなぐ（CAC）では、子どもにとって安心した環境で、暗示や誘導等を排除した適正な技法によりお子さんから被害の事実を聞き取り（司法面接）、必要な機関とつながりながら、お子さんのケアについて一緒に考えていきます。

### 被害について話してきたときに話を聴くポイント

#### ① お子さんの話を信じて受け止める

しっかりと向き合って「あなたは悪くない」という態度でお子さんのいうことに耳を傾けましょう。あなたは何も話さなくても大丈夫です。

「本当なの？」「どうして？」「あなたが〇〇したから・・・」など批判的に感じるような言動はしないように注意してください。

お子さんが安心して話せるよう、話をする場所などにも配慮しましょう。

#### ② 誘導しない

「もっと詳しく聞いて、本当かどうか確かめなくては・・・」と、根掘り葉掘り尋ねることはしないで、お子さんが話すことをそのまま聞きましょう。

「Aさんが触ったの？」など、お子さんが話していないこと聞いたりしないでください。お子さんが自分の言葉で話せることが大切です。そして、お子さんの話を途中でとめずに、お子さんが話したいところまでを聞くようにしましょう。

#### ③ 「あなたは悪くない」というメッセージを伝える

勇気をもって話してくれたことをねぎらい、味方であることを伝えましょう。「あなたは悪くない」

「これからあなたを守っていく」「あなたはかけがえのない存在」というメッセージを言葉や態度で伝えましょう。そのような言葉や態度はお子さんの安心につながります。

そして「これからどうしたらしっかり守っていけるか考えるためにも、子どもの話を聴いてくれる専門の人に話しにいこう」と、専門機関につながることをお子さんと共有してください。

子どもにとって、安全で安定した環境と安心できる人がいることが、とても大切です。しかし、お子さんの被害を知ったあなた自身も、混乱し、苦しみを感じていることでしょう。お子さんのためにも、あなた自身のためにも、抱え込まず、専門家に話し、今後のことを一緒に考えることはとても大事なことです。

#### 連絡先

警察（性犯罪）：110番

児童相談所：189番

つなぐ：045-232-4121（代）

CAC@tsunagg.org

